

## 単元名 きせつのことば2

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。  
 (2) 経験したことや想像したことから書くことを見付けることができる。  
 (3) 言葉の働きに気付く、経験を文章に表そうとする。

## 標準的な展開例

02010118\_001

【教材名】夏が いっぱい (上 P.90～P.91)

【準備等】夏発見カード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 夏に関わる言葉を探し、発表する。          ★夏を感じる言葉を見付けよう。          ○「みんな」を音読する。</p> <p>○夏に関わる言葉を見付け、発表する。</p> <p>○見付けた言葉をまとめる。</p> <p>2 夏を感じたときのことを夏発見カードに書く。          ○「みんな」を音読する。</p> <p>○自分がこれまでに見て、夏を感じたものを発表する。</p> <p>○自分が感じたときの経験を文章にしてカードに書く。</p> <p>○書いたものを読み合い、お互いのカードについての感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科の学習との関連を図るとよい。</li> <li>・音読をさせ、韻を踏んでいる詩を楽しみながら読めるようにする。</li> <li>・追い読み、一人読み、一文交代読みなど、楽しく音読ができるように工夫する。</li> <li>・教科書の挿絵を手がかりに、夏に関わる言葉を探させる。</li> <li>・ウェビングを使うなど、言葉のイメージが広がっていくように工夫する。</li> <li>・春のときと同様に、言葉を生き物、植物などに分類させる。</li> </ul> <p>【評】夏に関わる言葉まとめの活動を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読させながら、前時に見付けた夏を思い出させるようにする。</li> <li>・前時にまとめたものを参考に、児童自身が自分のこれまでの生活の中で夏を実感したものを発表させる。</li> <li>・見付けたものやそのときの気持ちを発見カードに書かせる。</li> <li>・文章だけでなく、絵を描き、言葉とイメージがつながるようにしてカードを書かせる。</li> </ul> <p>【評】夏発見カードに書く活動を通して、経験したことや想像したことを文で表す「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】夏発見カードの記入の活動を通して、自分の経験を基に文章に表そうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループなどでお互いのカードを交流し、自分では見付けられなかった夏があることに気付かせる。</li> </ul>

【 備 考 】